



### 2月の採用薬品（特定個人薬品）

#### クロチアゼパム錠5mg「トーフ」

##### 心身安定剤

##### 東和薬品

【効】1. 心身症（消化器疾患、循環器疾患）における身体症候ならびに不安・緊張・心気・抑うつ・睡眠障害

2. 麻酔前投薬

3. 下記疾患におけるめまい・肩こり・食欲不振：  
自律神経失調症

【用】用量は患者の年齢、症状により決定するが、通常成人にはクロチアゼパムとして1日15～30mgを1日3回に分けて経口投与する。

麻酔前投薬の場合は、就寝前または手術前にクロチアゼパムとして10～15mgを経口投与する。

【副】添付文書参照



#### シーピー配合顆粒

##### 複合ビタミン剤

##### 東和薬品

【効】本剤に含まれるビタミン類の需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給（消耗性疾患、妊産婦、授乳婦など）、炎症後の色素沈着効果がないのに月余にわたって漫然と使用すべきでない。

【用】通常成人1回1～3gを1日1～3回経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照

※胃瘻から投与するため



#### アプリンジン塩酸塩カプセル10mg「NP」

##### 不整脈治療剤

##### ニプロ

【効】下記の状態での他の抗不整脈薬が使用できないか、又は無効の場合：  
頻脈性不整脈

【用】通常、成人にはアプリンジン塩酸塩として、1日40mgより投与を始め、効果が不十分な場合は60mgまで増量し、1日2～3回に分けて経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照



### 2月の採用薬品（特定個人薬品）

#### ユーエフティE配合顆粒T150

##### 代謝拮抗剤

##### 大鵬薬品工業

【効】＜テガフル・ウラシル通常療法＞：

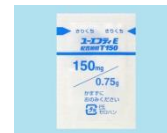
次の疾患の自覚的並びに他覚的症狀の寛解：

頭頸部癌、胃癌、結腸・直腸癌、肝臓癌、胆のう・胆管癌、膵臓癌、肺癌、乳癌、膀胱癌、前立腺癌、子宮頸癌

＜ホリナート・テガフル・ウラシル療法＞：

結腸・直腸癌

【用】【副】添付文書参照



#### テリパラチドB S皮下注キット600μg「モチダ」

##### 骨粗鬆症治療剤

##### 持田製薬

【効】骨折の危険性の高い骨粗鬆症

【用】通常、成人には1日1回テリパラチド（遺伝子組換え）〔テリパラチド後続1〕として20μgを皮下に注射する。

なお、本剤の投与は24ヵ月間までとすること。

【副】添付文書参照



### 2月の採用薬品（院外専用薬品）

#### ミケランLA点眼液2%

##### 緑内障・高眼圧症治療剤

##### 大塚製薬

【効】緑内障、高眼圧症

【用】通常、1%製剤を1回1滴、1日1回点眼する。なお、十分な効果が得られない場合は、2%製剤を用いて1回1滴、1日1回点眼する。

【副】添付文書参照



### 採用区分変更薬品

タガメット錠200mg 採用薬品 → 院外専用薬品

ボルタレンSRカプセル37.5mg 採用薬品 → 院外専用薬品

テルビナフィン錠125mg「ファイザー」 採用薬品 → 注文薬品

※テルビナフィン錠125mg「VTRS」にメーカーも変わります。